

CHIBA



～グランキューブ大阪(大阪府立国際会議場)～写真提供:百瀬登展(行政 OB)

【特集:全国大会】 建築士会全国大会おおさか大会と大阪・関西万博 / 建築士会全国大会おおさか大会エクスカージョンに参加して

全国大会って…いいなあ～ / 全国大会おおさか大会(大阪・関西万博)

【リポート・寄稿】 中小企業診断士カッシーに聞け! #19 ～質問したのに答えがズレて返ってくる人への対処法～

建築と子どもたちWS「積木&キューブパズル」開催報告 / 建築士の日「建築士×街×建物×災害」

【原っぱ】 変体かなと家系図「＝」 / ～弁護士アジローがゆく～ #27 「進撃の全国大会おおさか大会! の巻」

【SDGs・DX】 2030年に向けた国際目標SDGs

【ご案内】 千葉 BIM ワークショップ 2025 開催のお知らせ!

【表紙の説明】 【編集後記】 【会員の動静】



建築士会全国大会おおさか大会と大阪・関西万博

～建築物への木材使用と二酸化炭素削減～

百瀬 登展（行政 OB）

9月19日に開催された第67回建築士会全国大会おおさか大会に参加してきました。

秋田大会、静岡大会、鹿児島大会に続いて4回目の参加でした。秋田、静岡の大会では私の勤務する（株）ナリコーは建築士会賛助会員の立場で木材活用による二酸化炭素（CO₂）排出削減の取組（脱炭素建材ナリコー早生桐）について企業ブース出展をして参加しました。今回もブース出展するつもりで春先から準備していたのですが、大阪府建築士会の賛助会員のみで枠がいっぱいとなり、ブース出展はできませんでした。折込広告協賛に参加し、木によるCO₂削減をアピールしたA4判1枚の折込広告を大会参加者3,500人に配布させていただきました。

大会会場はグランキューブ大阪（大阪府立国際会議場）、大会のテーマは「建築からソーシャルデザインへ」でした。

私は、式典、講演会、10あるセッションのうち、木のまちづくりセッションに参加しました。

大会式典では、千葉県から、武藤亜貴子様、斎藤幸一様、角田淳様が令和7年度連合会会長表彰されました。おめでとうございます。



会場の大阪府立国際会議場

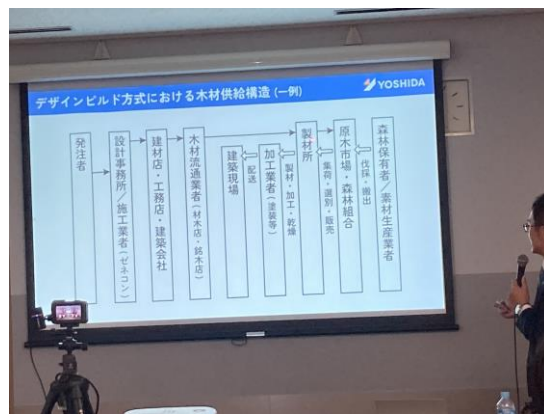
木のまちづくりセッションのテーマは「次世代の木の建築を支えるための『人』・『木』・『森』～木の建築をつくりつづけるために今始めなければならないこと～」でした。まず、3名の方から取組事例発表などがありました。

『人』：京都・大阪における地域産木材と地元の木工で造る建築の取組として、二つの事例が京都府建築士会 高橋勝様から紹介されました。

- ・京北森林組合の木造倉庫建設
- ・都市（防火地域）の水辺の木造公園施設建設

『木』：「木の建築を未来へつなぐための基盤としての森づくりー地域材の役割分担と広域連携の必要性」という題目で奈良県の吉田製材（株）代表取締役 吉田敦彦様から木材流通の仕組みの説明、取組事例の紹介、業務・地域を超えた広域連携の必要性などのお話がありました。

『森』：「木のまちをつくりつづけるための森づくり」という題目で、NPO 法人サウンドウッズ代表理事 安田哲也様から大規模木造建築物として建設された京丹波町役場庁舎建設に係る地元材調達のサプライチェーン、京丹波町の森の100年サイクルなどのお話がありました。



木のまちづくりセッションの様子

後半は参加者（100人弱）も交えての意見交換がありました。木のCO₂削減貢献のことが全く触れられていなかったのが、私は「CO₂を吸収して内部に炭素として固定する木材を建築物に使用することは、CO₂削減におおいに貢献している。これを建築士は世間や建築主にもっとアピールすべきではないか。」と発言しました。すると、事例発表者の一人から「木造の建築物を増やしていくことは、街にもうひとつの森林をつくることと同等の効果がある。」とリアクシ

ョンがあり、ホッとしました。有意義なセッションでした。

今回のおおさか大会のエスカーションには大阪・関西万博コースがありました。万博開催期間は4月13日から10月13日まででしたが、終盤の一般入場者数の伸びは凄く、9月末には延べ2,200万人を超えたとのことでした。

弊社（株）ナリコーは、植栽による会場整備無償協賛のスキームの中で、万博会場に高さ6mほどの早生桐10本を植樹させてもらいました。植付、管理、撤収までが弊社の役割となります。

樹木がCO₂削減に貢献していること、弊社の環境計画の一環として手掛けている早生樹の一種であるナリコー早生桐を広く世間にアピールすることを目的に協賛参加することになりました。

参加してみると、想定外のことも多々ありました。最終的にどれだけのアピールになったのかは分かりませんが、なんとか目的は達成できたのではないかと思います。おおさか大会前日の9月18日に万博会場に出向き、少し太くなり元気な早生桐を確認し、感慨深いものがありました。早生桐は強風・塩害の過酷な環境に耐えてくれました。

万博開幕の2年ほど前から、高さ6mほどの数本の早生桐を掘り取って根鉢を作る移植の試験を成田市の圃場で実施しました。銚子市犬吠埼のホテルの敷地に苗を植えさせてもらい、対塩害試験なども行いました。試験結果は明確ではなかったのですが、開催中に枯れることは無いだろうと、2023年9月に協賛申出書を提出しました。

協賛申出手続きもそうですが、国際博覧会の諸手続きはいずれも細かく制度設計ができていて、ついて行くのに苦労しました。

- ・各段階（工事期間、開幕直前、開催期間中、閉幕後）での人と車両の入場許可申請
- ・社員の名刺に万博のロゴを使用する申請

・QRコード付き樹名板の取付協議

・関係工事業者との工程調整 等々

関係者、特に万博協会の植栽担当者には大変お世話になり、感謝してもしきれない思いです。



会場内の早生桐(2025年9月18日撮影)

徳島県の圃場から2024年11月に移植



樹木の光合成によるCO₂削減・炭素固定

協賛記念に、10本の早生桐のうち3本は、11月下旬に成田市の弊社の本社敷地などに移植します。

今回の万博では、大気中のCO₂を直接回収するダイレクトエアキャプチャーと言われるシステムなど多数のCO₂削減に係る最先端技術が展示されていました。CO₂削減が、今、世界的な課題であることの証拠ではないかと思います。

樹木の光合成によるCO₂削減は、地味ですがその効果ボリュームは地球的には圧倒的に大きなものです。減退させてはなりません。

建築士会全国大会おおさか大会エクスカーションに参加して

～大大阪時代の中之島と船場の近代建築めぐり～

桑原 志乃（習志野）

2025 年 9 月 20 日（土）、暑さのピークは過ぎたものの、まだ涼しいとはいえない気温の中で、エクスカーション G コースの見学会が始まりました。

施設見学とまち歩きを考慮し、受付を済ませた順に 10 名ほどのグループに分かれて順次スタートしていきます。この段取りからも、大阪建築士会の皆さんが開催方法を綿密に検討されてきたことがうかがえ、心温まる思いでした。

スタート地点となる大阪市中心公会堂は、辰野金吾の事務所で経験を積んでいた若手建築家の岡田信一郎が設計競技で 1 等に選ばれ、岡田氏の基本設計をもとに、辰野金吾と片岡安が実施設計を担当しています。赤煉瓦と花崗岩を組み合わせた重厚なファサード、中央の大ドームと左右の小ドームによるシンメトリーな構成の壮麗な外観は、結婚式などの記念写真の撮影スポットとしても人気とのことでした。1918 年（大正 7 年）の竣工以来、100 年以上の歴史を誇る重要文化財でありながら、現在でもコンサートや講演会、展示会など多彩なイベントに利用できる公共施設として活用されているということが素晴らしいと感じます。

エクスカーションでは残念ながら外観のみの見学でしたが、実はわたし、2 日前の木曜日、全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会の会場となっている大集会室に、奇跡的に入ることができたのでした。

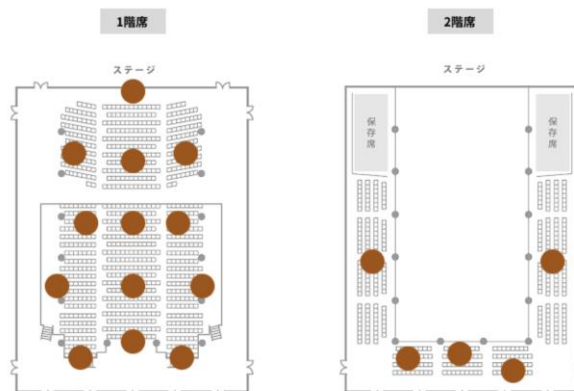
大集会室の中は、舞台を中心に 1 階席と 2 階席を備えた劇場型の構成で、高い天井には大型のシャンデリアが規則的に並び、クラシックな雰囲気がとても素敵な空間です。舞台前のスペースで足元に違和感を覚えると、それは木質の床に刻まれた切れ込みで、オーケストラピットであることがわかりました。創建当初から音楽的用途を想定し、床下に専用スペースが設けられているのです。そのためか、前方の客席には車輪の付いた可動式の椅子が設置されており、この工夫のおかげで、講演会や演奏会、式典など多様な用途に合わせてレイアウトを自由に変更できるようになります。100 年前というところかなり昔に感じられますが、すでに可変性を考慮した空間設計がなされていたことに驚かされました。また、座席番号に「ひらがな」が使われている点も時代を感じさせて個人的にお気に入りです。どの文字まで使われているのか気になって後方まで見に行くと 1 階席は「ま」で終わり。そうすると 2 階席はどうなっているのか気になりますよね。詳しく知りたい方は、大阪市中心公会堂の HP で座席番号をぜひご覧ください。「客席から見たステージ」の写真は臨場感がありとても美しいのでおすすめです。

この貴重な体験の機会を設けるために各方面と調整してくださった、習志野支部の旅コンシェルジュ・清永さんに心より感謝申し上げます。

客席から見たステージ



大阪市中心公会堂（国重要文化財）

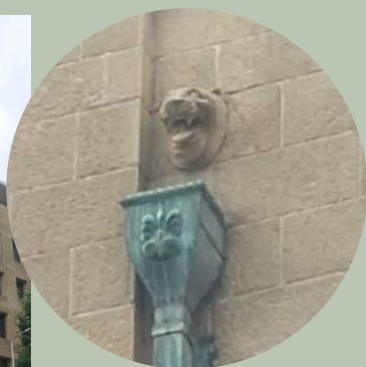


大阪市中心公会堂 HP より



■「中之島～船場」まち歩き MAP

大阪ヘリテージマナージャー協議会が作成した冊子を片手に、1 km²の範囲内にある歴史的建造物24棟（うち16棟が文化財指定）をめぐります。掲載された建物以外にも歴史的価値の高い建物が多数存在し、この地域が見どころ豊富な文化遺産の集積地であることがよくわかります。



■三井住友銀行大阪本店

石張りの外壁の色がとてもきれいで際立っている。各雨どいにはライオンの頭がついているけれど、水を吐くことはあるのかしら？



■大阪府立中之島図書館

正面にはコリント式の円柱が並び、ギリシャ神殿を思わせる荘厳な構成。この建物のほかにも散策中に色々な柱頭様式を見ることができました。さて、何式があつたのでしょうか。



■大阪倶楽部

はじめましての方とでも、この切り欠きは斜線制限のためか？どんな意図があるのか？と語りながら散策できるのも建築士会ならではの楽しさだと思います。





全国大会って…いいなあ～

建築士会最大行事にして、開催地の文化に深くふれあい学び、一層会員の輪を広げることのできる全国大会。参加できない年もあるものの毎年楽しみにしている。

昨年鹿児島大会で、大隅半島コースエクスカージョンの案内役を務められた上之段氏（鹿屋・肝属支部長）と出会う。お互いおおさか大会（9月19日）参加を約束し再会の期待に心躍らせる。会場のグランキューブ大阪はとにかく広い！その上3000人以上もの参加者の中から探さなければならぬのは至難…と思いきや、待ち合わせたかのようにロビーの同じ柱の傍らで再会。これには驚きと感動！更には鹿児島土産まで頂戴し、何とも感慨深いひとときに恵まれることができた。

その後大会式典に出席。オープニングセレモニーでは、大阪天満宮「天神祭」の太鼓囃子（地車囃子と言うそう）に合わせて「龍おどり」が披露される。軽快で勇壮なこの祭りは1000年以上もの歴史があるそうで、まさに式典の幕開けを飾るに相応しい演目を選ばれたと共感する。大会運営関係者に少々後ろめたさを感じながらも、プロ球団にも関わらず、33・4年前たけし軍団の草野球チームに負けた弱小チーム応援のため、会長や来賓挨拶終了まで臨席し会場を後にする。

翌20日は「大大阪時代^{せんば}の中之島と船場の近代建築めぐり」午後の部のエクスカージョンに参加。

「大大阪時代」とは大正後期から昭和初期にかけての頃。中之島は堂島川と土佐堀川に挟まれた中洲を指し現在では大阪を代表するビジネス街。先ずはその一角に位置する集合場所の「大阪市中央公会堂」や中の島や船場の成り立ちの説明から散

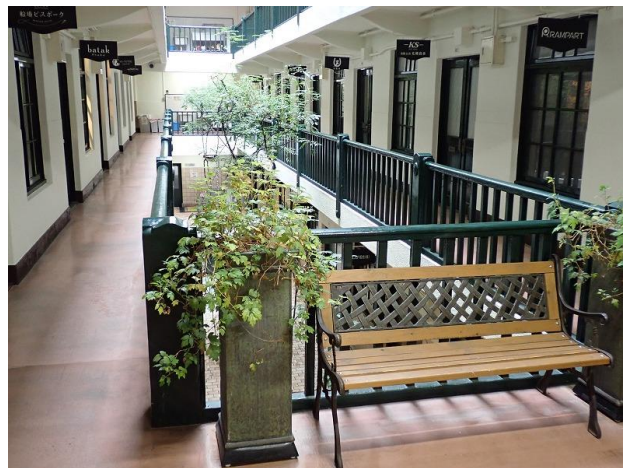
大和久一吉（長生）

策が始まる。旧東京駅を想像させる公会堂外観はやはり辰野金吾が設計に関わっていた。手渡されたパンフレットには他30件以上も紹介されており、各々の建物の詳細を知ることが出来る。



生駒ビルディング（生駒時計店）

いずれも個性が強く独自の雰囲気や歴史がある建物ではあるものの、特に印象に残ったものは「生駒ビルディング（生駒時計店）」。手掻き線入りスクラッチタイルの施された外装、「生」と記された将棋の駒型の当店商標を最上段に、垂直に並ぶ8枚の縦長長方形で異なる衣装の看板、塔部の時計台などに目を惹かれる。



船場ビル内観 吹き抜けの通路を囲い店が並ぶ

「船場ビルディング」。一見それ程特徴的とも思えない外観ながら、館内は瀟洒な雰囲気です。3階まで吹き抜けの通路を囲い、数多くの店舗や事務所が同居している。表示板の入居者を数えると、なんと73件。このスペースにこの件数は圧巻！



清水猛商店 正面外観

「清水猛商店」。木造3階建てのレトロな正面外観。その横顔に、外壁伝いではなく下屋部分の2階屋根から屋上に架かる急勾配の屋外階段を目の当たりにする。あまつさえどう見ても木造！確か屋外階段は木造不可では...



吉田理容所 正面外観

「吉田理容所」。パンフレット外ではあるものの当時のお洒落感が窺える。庇の屋根が日本瓦葺というのが面白い。

17:00 終了の予定と聞きその後の予定をしていたため時間オーバーとなり、残りを同行できなかったのはちょっと残念。また機会を作って訪ねてみようと思う。



清水猛商店 側面

全国大会おおさか大会（大阪・関西万博）

青山 貴仁（松戸）

毎年全国大会に参加しています青山です。

今回のおおさか大会は大阪・関西万博がエキスカーションに設定されており、迷わず選択しました。子供の頃に家族で行ったつくば科学万博以来で嬉しい反面、行ったことのある方からのアドバイスでは物凄い混雑と行列、予約しないと見学できないパビリオン、食事の料金が割高等々、覚悟しないといけないことが多く、不安もありました。

そういう状況の中、大阪府会様から藤本壮介氏による大屋根リング案内の募集があり、応募したところなんと当選！貴重な機会を得ることができましたが、大屋根リングの設計者である藤本氏の説明を聞きたい方が多くいる中で不勉強な私が選ばれるとは運が良いのか世の中の不条理なのかは分かりませんが、「これから精進せよ」という神様のお告げ！？だと考え、足りない頭でもしっかりと聞かなくてはと覚悟して臨みました。



パビリオンや万博の主旨を説明する藤本氏

世界最大の木造建築である大屋根リングは森の自然や水辺を生かし、分断されないように海の上を通り円形であること、限られた会場なのでコンパクトになっていること、パンビリオンはどれ一つとして同じ敷地は無いことなど多様性を意識し、これからの時代や日本的な事を配慮し設計された

そうです。

他にも著名な建築家や若手建築家の方々がパビリオンを設計されており、万博の凄さを実感し、実際に大屋根リングの内部と上部を歩きながら、設計者の意図や万博の内部事情、20億円超の追加予算のおかげで万博自体が成立できたことを聞くことができ、万博開催が赤字にならなくて本当に良かったと思います。



大屋根リング上部での藤本氏と古谷氏

また特別にドイツ館では自然や環境について、ヨルダン館では歴史と文化、2億円トイレでは限られた材料と予算での工夫を見学でき、特にヨルダン館の案内をしてくださったヨルダンの方は連合会会長の古谷氏の研究室に在籍されていたそうで「ヨルダンと日本の建築と文化の橋渡し役になりたい」と仰っていたことが印象に残りました。

非常に充実したものとなったこのエキスカーション、私自身の成長も大切ですが、自分の得意なことを考えると「人と人を結びつけること」で私も橋渡し役ができればと思いますので、皆様、今後とも宜しくお願い致します。

最後にこのエキスカーションを企画してくださった大阪府会の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。



中小企業診断士カッシーに聞け！ #19

～質問したのに答えがズレて返ってくる人への対処法～

柏村 斉（市川・浦安）

「質問したのに、返ってきた答えが何だかの外れだった」

職場でも打合せの場でも、そんな経験は誰にでもあるでしょう。

図面の納まりや法規の解釈、補助金の要件確認など、建築士の仕事は確認すべき事項が多く、質問のやり取りは日常茶飯事です。ところが質問の答えがズレて返ってくると、時間を浪費し、時にはプロジェクトの進行にも影響します。

この「答えのズレ」を相手の理解不足や注意力の欠如だと決めつけていないでしょうか。もちろん聞かれた側の理解力や集中力に原因がある場合もあります。しかし実は、質問した側——つまり私たち質問者自身に原因があることが少なくありません。

なぜ答えがズレるのか

答えがズレる典型的な理由は次の 3 つに整理できます。

1. 質問が曖昧

例：

「この案件、どう思います？」

一どの観点での「どう」なのか、相手には分かりません。コスト？法規？意匠？

2. 背景情報が不足している

例：

「この構造、これでいいですか？」

一図面の前提条件や荷重計算の数値が伝わっていないければ判断できません。

3. 質問の目的が伝わっていない

例：

「この外壁材どうですか？」

一「美観を優先した意見がほしい」「コスト優先で選びたい」など、目的が明示されていないと、相手は推測で答えるしかなくなります。

これらはすべて質問者側の質問の“設計不足”です。

設計図面が曖昧なら施工者は迷うのと同じように、質問が曖昧なら答える側も迷い、結果として「ズレた」答えになります。

まずは質問者自身が明確にする

では、質問者は何を意識すればよいのでしょうか。ポイントは「自分が何を知りたいのか」を自覚し、質問を設計することです。

1. 目的を一言で定義する

「〇〇を決定するために」「△△のリスクを確認するために」など、質問のゴールを自分の中で言語化します。

2. 前提条件を整理する

数値、制約、背景事情など、答える側が判断するのに最低限必要な情報を添えます。

3. 答えてほしい観点を指定する

「コスト面で」「意匠面で」「法的に」など、観点を限定すれば相手も焦点を合わせやすい。

これらは一見当たり前ですが、会話のスピードに流されて省略してしまうことが多いものです。



具体的な実践例

事例 1：構造設計者への確認

×「この梁のサイズ、これで大丈夫ですか？」

◎「積雪荷重を考慮した場合、梁成 450mm で安全率 1.2 を確保できるか確認したいです。」

事例 2：役所への事前相談

×「この用途変更っていけますか？」

◎「延べ床面積 1,200 ㎡、主要用途が事務所から飲食店に変わる計画ですが、用途変更確認申請の可否を知りたいです。」

事例 3：社内打合せでの意見聴取

×「この外装デザインどう思う？」

◎「ファサードに木目ルーバーを使った案です。コストは 1 ㎡当たり 3 万円。意匠的に駅前景観条例の趣旨に合っているか、意見をください。」

このように「目的＋前提＋観点」をセットにして伝えるだけで、返ってくる答えの精度は格段に上がります。



相手への配慮も忘れずに

明確に質問したとしても、相手が多忙だったり、専門外だったりするとズレは起こり得ます。そんな時

は以下を意識しましょう。

- **要約で確認する**：「つまり〇〇という理解で良いですか？」と復唱し、認識を揃える。
- **段階を踏む**：一度で全てを聞き出そうとせず、まず大枠→詳細の順に。
- **相手を責めない**：答えがズレた時に「話を聞いてない」と指摘するより、「こちらの説明が足りませんでした」と一言添える方が、次の会話が円滑になります。

建築士にとっての質問力の意義

建築士は多職種と連携し、役所、施主、施工者など立場の異なる人とコミュニケーションを重ねます。質問力は、設計力や調整力と同じくらいプロジェクトを左右するスキルです。

“聞き方”を整えることは、図面を整えるのと同義。自分の意図が明確であれば、相手の答えも明確になります。結果的に業務効率が高まり、施主の信頼にもつながるでしょう。

おわりに

「答えがズレるのは相手のせい」——そう決めつける前に、質問者自身がまず“設計者”として質問を設計しているかを振り返りましょう。

質問とは、相手の知識や経験を自分の目的に沿って引き出すための“設計図”です。

明確な設計図があれば、答えは的確に返ってきます。

次に誰かに質問するとき、まず自分にこう問いかけてみてください。

「私は何を知りたいのか」

「相手が答えるために、どんな情報が必要か」

この二つを意識するだけで、会話の質は驚くほど変わります。

建築と子どもたち WS

～「積木&キューブパズル」開催報告～

「次はいつやるの?」「また行きたい!」

8/24(日)のワークショップに参加してくださったお子さんから、うれしい言葉をいただきました!

参加してくれたお子さんたちは、どれだけ使っても無くならない積木での創作に、何時間も夢中になってくれました。その集中力、想像力は本当にすごいと感じた一日でした。

「そんなことができるのか!」「そんな使い方は思い付かなかった!木目がとてもきれいだねー!」と歓声が上がる場面がありました。また、子どもには負けられないぞ!と、お父さん方もスタッフも奮闘していろんな積み方にチャレンジをしました。

大人も子どもも区別なく、創造の世界に没頭できるイベントになったと、うれしく思っております。

ご参加くださった皆さん、本当にありがとうございました。



女性委員会の「建築と子どもたち」の活動では、自然の中での創作活動の場、建築士とのふれあいの場を大切に考え、これまで長い期間、君津支部や青年委員会の皆さんの協力で、山での「もの作り体験」の場を子どもたちに提供していました。

昨年从那場所をお借りするのを止めたため、これからそのような場をいかに提供するのか悩んでおりました。

佐藤 千弘(松戸)

その一方で、15年ほど前に多くの方々の助力により作成した、大量の木製積木を女性委員会で保管しておりましたが、活用されなくなり、その存在が忘れられている状態となっていました。そこで積木遊びを復活させ、「もの作り体験」として提供しようと考えました。

今回は「大量の積木で遊ぶ」というだけでなく、夏休みの自由課題を視野に、キューブパズル制作という松戸支部がよくイベント時に行っている、人気のワークショップを組み合わせました。



一辺が3cmの立方体を27個使って、制作図を見ながら、子どもたち自身が一辺9cmの立体パズルを制作します。小さい立方体を貼り合わせて、いくつかのパーツを作り、それを組み合わせて大きな立方体に組むのです。

大人でも案外難しいのですが、あっという間に組み上げてしまう子もいました。しかも、組み上げるパズルの答えが複数あることを、今回参加した子どもたちと、女性委員会のメンバーとで発見しました。立派は研究成果です!



開催場所は建築会館で、申し込み人数は保護者を含め 17 名でした。少し寂しいのでは？と心配したのですが、結果としてパズル制作と総数 2,700 個の積木で思う存分遊ぶには適正な人数だったと思います。

靴を脱いで創作するために用意したスペースは 6 帖でしたが、参加された方からもう少し広い方がもっと自由に創作できたかも。という意見をいただきました。



子どもたちの思うままに組み合わせたたくさんの積木、建築士たちの積んだ形をヒントにアレンジした柱やアーチ、天井まで届くような高い塔、木製積木のいい香りが、楽しかった創造の時間とともに子どもたちの記憶に残ったに違いありません。そして最後は、お待ちかねのゴジラタイム。

高く積んだ塔の積木を一つ二つ取るだけで、一瞬にしてすべてが崩れるのを体験しました。積木ならではの面白さを実感してもらえたのではないかと思います。



今回この大量の積木は 15 年ぶりに洗浄、乾燥を行いました。木のいい香りが復活し、また安心して子どもたちが手に取れるものになりました。

(大変な手入れをしてくださった金光さんと仲間たちに感謝いたします)

ふたたび、多くの方にこの積木を活用していただく為、女性委員会では各支部に対し、イベント用として積木と敷物の貸し出しを行います。

是非、この積木を使って、子供たちと建築士とのふれあいの機会を作ってください。未来の建築士が、そこからきっと生まれてくると信じています！



おしまい

建築士の日

「建築士×街×建物×災害」

こんにちは。習志野支部の三代川です。今年度から新しく習志野支部のメンバーに加入させていただきました。

今回は、新人の立場から 2025 年 6 月 29 日に開催された「建築士の日」イベントについて、ご報告いたします。

■企画から開催まで

習志野支部では、毎年 7 月 1 日の建築士の日にあわせて地域に開かれたイベントを企画しています。今年も例年通り、近い週末を選んでの開催となりました。

限られた時間の中、目的や理念を共有しながら、少しずつ形を整えていきました。

今年のテーマは「建築士×街×建物×災害」。

防災意識の向上を中心に据え、参加する市民の方々が“自分ごと”として考えられる企画を目指しました。講義を一方的に聴く形式ではなく、体験しながら学べる方向性を模索し、建築士と地域の方が直接コミュニケーションできる場をつくることを目標としました。

■打ち合わせで感じた雰囲気良さ

企画会議で特に印象的だったのは、支部の雰囲気の良さでした。支部長をはじめ先輩方が進行役やサポート役に徹し、私たち新人にも積極的に意見を求めてくださいます。誰もが自由に発言できる環境があり、初参加の私も自然と主体的に考え、提案することができました。



集合写真 1

三代川 剛久（習志野）

このオープンな空気は、建築士会に慣れていない新人にとって非常に心強く、イベントに向けての準備を楽しみながら進められた大きな理由だと感じています。

■「住まいの相談会&あなたの防災マップ」

こうして完成した企画が、「住まいの相談会&あなたの防災マップ」です。

住まいの相談会では、空き家・補助金・耐震・住宅相談など、分野ごとに建築士が対応し、専門的な悩みや要望に直接お答えしました。行政手続きや補助制度に関する質問も多く、市民の方が抱える“住まいの不安”の幅広さを実感しました。

防災マップでは、まず防災に関する講義を行い、その後、開催地である実習周辺を建築士と実際に一緒に歩きながら危険箇所を確認。

さらに「逃げ地図」を取り入れたワークショップを参加者とともにを行い、オリジナルの防災マップを作成しました。

■ワークショップ参加者の反応

現在はスマートフォンの普及で、自宅や目的地までの経路・時間を簡単に調べることができます。しかし、災害時にはその情報が必ずしも正確とは限りません。いつも通る道が安全とは限らず、思わぬ迂回が必要になる場合もあります。

“逃げ地図”を使うことで、普段の“日常の地図”では気づかない危険や課題を事前に知ることができ、参加者の皆さんも強い関心を示していました。



ワークショップ風景

作業中は「ここは思ったより時間がかかる」「この路地は崩れそうな塀があったので危ないかもしれない」といった声上がり、話し合いながらマップに色を重ねていく様子がとても印象的でした。

参加された方だけでなく、企画した私たち自身にとっても、新しい視点で街を見る大きな学びの場になりました。

■地域×行政×建築士会

今回の資料作成にあたっては、習志野市危機管理課のご協力をいただき、防災パンフレットの内容も参加者に紹介することができました。

地域に根差した実践的なイベントとなり、市民の防災意識向上につながったと感じています。

今回参加された方は以外にも習志野市以外からの参加者も多くみられ、地域をまたいで習志野市の取り組みを伝えられたことは意外な成果でした。

■個人の建築士と団体としての建築士会

今回の経験を通じて、建築士という専門職が地域にどのように貢献できるかを改めて考えさせられました。

災害への備えは行政だけに任せるものではなく、地域に住む私たち自身が責任を持ち、日常の中で継続して取り組むべき課題です。

建築士は専門知識と地域とのつながりを活かして防災やまちづくりに大きな役割を果たせる存在ですが、実際一個人でその活動をおこなうのは至難です。



ワークショップ発表風景

今回、建築士会という団体を通して機会をもらい、実際にその役割を発揮することが出来たわけですが、これこそが大きな強みなのだと実感しました。

新人として参加した私は、先輩方の丁寧なサポートや地域の方々の真剣な姿勢に多くの刺激を受けました。

来年度以降も、この取り組みを発展させ、より多くの方が地域や建築について考えるきっかけを提供できるよう、習志野支部の一員として力を尽くしたいと考えています。

次回の建築の日はどのような日になるのか、今からとても楽しみです！

引き続き、皆さまのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

? 逃げ地図とは？

地域住民が自ら歩いて危険箇所や安全な道を確認しながら作成する、災害時の避難ルートを示す地図です。

ハザードマップでは分かりにくい細い路地や高低差、倒壊の恐れがある場所なども反映し、実際の状況に即した安全な経路を共有できます。住民同士で話し合いながら作ることで、防災意識の向上や地域のつながり強化にも役立ちます。

逃げ地図 公式サイト：<https://nigechizu.jsurp.jp/>



集合写真2

変体かなと家系図「==」

皆様は法務局から登記事項要約書（旧登記簿謄本）を取得した際に読めない名前に出会ったことはありませんか？個人情報ですのでお名前のみ抜粋すると「■■」さんと記載されています。このお名前、読めますか？実はこの方「こと」と読みます。さて皆様がこの読めない日本語に出会った時どうすればいいのか？国立国語研究所様のHPから変体かな一覧表を閲覧することができます。

キャー(*∇*)))))へんたい！の変態ではなく、変体です。すので打ち間違えの無いように。(実は変態でも検索ヒットします。) このページから合致するものを見つけ解説するのです。また、この変な文字はMSワードでも打つこともできるのです。法務省の戸籍統一文字番号の検索ページを開いてみてください。



【戸籍統一文字情報】

「■」の文字は「こ」で検索し、最後のページにありましたね。ここで文字番号 900290 をメモしておきます。「戸籍統一文字⇔GlyphWiki 対応表」
<http://pyrite.s54.xrea.com/koseki-glyphwiki.html> のページを開き、一番上の検索ボックスに先ほどの 900290 を入力して検索するんです。出ている文字をクリックすると詳細のページに移りますので右中央の（一文字フォント）をクリックします。おもむろにフォントのダウンロードが始まります。ダウンロードフォルダに入っていると思いますので右クリックしてインストールしましょう。

星 隆浩 (印旛)



【法務省 戸籍統一文字】

この特殊文字をワードやエクセルで使用するには、「げた」と入力し変換してください。

「=」イコールの太字のような文字が出ると思いますので、それを選択し変換。いつも明朝とかゴシックとか選んでいる窓から **koseki-900620** というフォントを選んでください。先ほどの変体かなに変換できたかと思います。滅多に出会う文字ではないので1文字ずつで十分です。

そんなこんなでお客様の家系図を書いているもの
 ですから父の父の父の母の母の父が生まれた年
 は嘉永 4 年（1851 年）です $\Sigma(O \omega O;)$

養		父		養		主	
出生	家族ノ 續柄	母	父	出生	家族ノ 續柄	母	父
嘉永六年貳月拾参日			兵衛 長女	嘉永四年拾月参日			長男

【戸籍謄本】

ペリー来航の 2 年前、アヘン戦争の 11 年後です！いくら線引き前からの一族の土地だと証明しろって言ったって厳しすぎませんか？

諸先輩方は最古で何年前までの年号を申請書に記載したことがありますか？嘉永4年を超える古い年号を記載したことある方！挑戦者求む！



～弁護士アジローがゆく～#27 「進撃の全国大会おおさか大会！の巻」

網代 真治（市川・浦安）

皆さん、こんにちは。市川・浦安支部の網代（あじろ）です。普段は弁護士をしています。対話劇で建築と法律に関する記事を連載させていただいております。

今回は第27回目。アジロー（A）が第67回建築士会全国大会おおさか大会に参加してきたので、広報委員のBがインタビューをしているようです。

B「A会員、今日はお時間を頂戴し、ありがとうございます。広報委員のBです。大阪の全国大会に参加されたとのこと、いろいろお話を聞けたらと思います。」



A「どうも僕です。よろしくお願いいたします。」

B「A会員は何日目から大会に参加したのですか？」

A「9月19日（金）の大会1日目から、2泊3日の参加ですね。大会式典から参加するはずでした。」

B「・・・『はずでした』、と言いますと？」

A「ちょっと千葉でモタモタしてしまして・・・これ絶対他の人に言わないでほしいんですが・・・『遅刻』・・・しちゃいましてね・・・。」

B「どれだけ遅れたんですか？たしか式典は午後3時から午後5時まではずでしたが。」

A「式典会場の後ろの方の席に潜り込んだのが、ちょうど午後4時30分ですね。」

B「もうほとんど終わりのやないかい！謝っておけ！」

A「皆さん、その節は大変申し訳ありませんでした。ですが、次回の群馬大会の予告には心が躍りました。今年参加しなかった読者の皆さんも、来年は参加してみてくださいね。」

B「式典の後の大交流会には参加されたのですか？」

A「もちろん参加しましたよ！大交流会では、東京・神奈川・埼玉の先生方と名刺交換ができましたし、ローストビーフの行列で私の前に並んでいた和歌山の先生とは、住宅紛争審査会の調停について有益な意見交換ができました。」

B「それを聞いて安心しました。ただ大阪に遊びに行っ

てたわけではないんですね。」

A「当然です。大交流会後の二次会でも、大阪・兵庫・和歌山の先生方と一緒に、交流を深めることができました。ただ、関西人のボケにマジメに回答して、千葉県民必殺のボケ殺しを何回か炸裂させてしまったようです。私ってほら、マジメが取り柄なので。」

B「ボケはボケであるから見抜ける人でないと（関西で生き抜くのは）難しいということでしょうか。」

A「そのようです。ま、非常に楽しい会でした。」

B「エクスカッションは何を選ばれたのですか？」

A「2日目は大阪市内を練り歩き、近代建築物をたくさん巡りました。門外漢ですが、デザインがとても好きなビルがあり、『自分の法律事務所を構えるならこういうビルがいい！』と妄想が捗りました。建築士会の大会ならではの素晴らしい企画だと思いました。」

B「いいですね。3日目は何をされたのですか？」

A「・・・万博です。」

B「おっ！大阪万博ですか！どうでしたか？」

A「……！（A、ギリッと唇を噛みしめる。）」



B「パビリオンには・・・入られたのですよね・・・？」

イタリアのような人気パビリオンでなくても！！
コモンズとかには！！」

A「もちろん—————！……………イヤ…今回の万博で…私は…今回も…」

A「（ギリッ）……………！！」

なんの成果も！！得られませんでした！！私の行動が無能なばかりに・・・！！ただいたずらに時間を使い・・・パビリオン1つにすら・・・！！入ることができませんでした！！」

B「進撃ふうに言うのやめーや！もうええわ！ありがとうございました～。」

とはいえ、万博会場では百瀬会員の早生桐と大西ライオンを見ることはできました。なお、弁護士アジローは創作上の人物あり、架空の弁護士です。 Ende

2030 年に向けた国際目標 SDGs

外部発信担当 堀口智子



近年、注目されている SDGs は、私たちにどのような関わりがあるのでしょうか。

ここでは簡単に、SDGs の概要と「大切な用語」についてご紹介します。

● SDGs (Sustainable development goals:持続可能な開発目標)とは？

国際社会が 2030 年までに貧困などを撲滅し、「誰一人取り残さない」ことを掲げ、持続可能な開発を実現するための重要な国際目標とされています。17 目標(ゴール)と 169 のターゲットで構成されており、ゴール 7、8、11、12 などには特に建築業界と関わりが深い目標です。



その枠組みとして以下 4 点があげられます。

- ① 持続可能な開発のための 2030 年に向けた国際目標
- ② 全ての国、全ての地域に普遍的に適用
- ③ ゴール・ターゲット・インディケーターの三層構造
- ④ 進捗状況のモニタリングと評価

★ SDGs (17 ゴール)

- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

●SDGsに関連する大切な用語とは？

主にテレビのニュースや雑誌、新聞、SNS などによく登場する用語を中心にをご紹介します。

(参考：地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム)

・エシカル

エシカル(Ethical)は「倫理的な」という意味で、行動やビジネス活動が倫理的であるか、社会的に受け入れられるかどうかを指します。

・ダイバーシティ&インクルージョン

ダイバーシティ(Diversity:多様性)とインクルージョン(Inclusion:包摂)を組み合わせた言葉で、多様な人材が組織や社会の中で互いに尊重され、一人ひとりが能力を最大限に発揮できる状態を目指す考え方です。SDGs が掲げる「誰一人取り残さない」という基本理念そのものです。

・ESG/ESG 投資

Environment(環境)、Social(社会)、Governance(企業統治)を考慮した投資活動や経営・事業活動を指します。企業の持続的な成長を測る上で、従来の財務情報だけでなく、これら 3 つの観点も重要であるという考え方です。ESG 投資とは、これらの ESG への取り組みを評価して投資先を選ぶ投資手法のことをいい、SDGs を達成するための手段の一つとされています。



千葉 BIM ワークショップ 2025 開催のお知らせ！

2025
12
19

Fri

千葉県建築会館 8 階

14:00-17:00

昨年に引き続き開催！

初心者 OK
はじめて OK

お気軽に
お越しください

富永 麻里 (君津)

君津支部に所属している、富永 麻里です。今回は「千葉 BIM ワークショップ 2025」を開催する運びとなり、そちらのイベントのご案内と、昨年に開催された「千葉 BIM ワークショップ 2024」のお話をさせて頂こうと思います。

千葉 BIM ワークショップは、千葉県 BIM 推進会議と ArchicadUserGroup LEMORE という BIM ソフトウェアのユーザー会が合同で開催した BIM のイベントです。

BIM について解説させて頂きますと、Building Information Modeling (ビルディング・インフォメーション・モデリング) の略称で、建物の設計、施工、維持管理などの業務で活用されるソフトウェアや、そのプロセス全体の事を言います。

千葉県 BIM 推進会議は、令和 3 年度の国土交通省の中小事業者 BIM 試行型モデルとして公募があった際、千葉県耐震判定協議会、千葉県建築士会、日本建築家協会関東甲信越支部千葉地域会 (JIA 千葉)、日本建築構造技術者協会 関東甲信越支部 (JSCA 千葉)、千葉県設備設計事務所協会が協同で立ち上げ、千葉県内の BIM 普及促進を目的に発足しました。

現在は、幅広く BIM に関わる方や興味のある方が参加出来る会として、2 か月に一度の会議や、不定期の勉強会開催を行っています。

私自身、縁あって千葉県 BIM 推進会議発足当初から会議に参加させて頂くと同時に (仕事で) BIM を

スタートし、現在は ArchicadUserGroup の代表として勉強会やイベントの開催や、ArchicadUserGroup MAGAZINE (広報誌) の発刊等を行っている関係もあり、昨年に引き続き建築会館の会場をお借りして、千葉県 BIM 推進会議のメンバーと共に「千葉 BIM ワークショップ」の運営の一員として活動しています。

BIM は、先ほど申し上げたプロセス全体の事を言いますが、最初に BIM に出会った時は衝撃でした。これまでは、3DCAD でモデルを起こしても 2D の図面は必要で、2D の図面の修正の度にモデルとの不整合が出てしまいます。2D の図面側でも、一部を修正すると他の図面の影響を考え、修正漏れが無いように確認しながら影響するすべての図面を修正する必要がありました。ですが、BIM は 2D と 3D が一体となっているので、合理的で修正の対応が不要となるので、まさに「求めていたソフトウェアだ！」と感動したのを覚えています。

これまでの 2DCAD とは概念も大きく変わる分、戸惑いもありましたが、その分自分たちが取得してきた技術として人に伝え、BIM に触れる機会を提供したいと思い、イベントの開催を行っています。

千葉県 BIM 推進会議では、発足当時から個性もありユニークなメンバーが揃っています。そんなメンバー同士の想いやアイディアを形に、昨年 2024 年度に開催した千葉 BIM ワークショップは、想定通り大盛況でした。



昨年度の
様子



千葉県 BIM 推進会議



昨年度は、全部で8つのワークショップから参加者が好きなものを事前を選んで参加ができる形式のイベントを行いました。開催した項目は、

- ①ソフトウェア・アドオン説明
- ②確認申請テンプレートについて
- ③BIMを活用した効率的なプレゼン資料の作成
- ④SCP (SmartCONPlanner) 施工計画を行うアドオン体験
- ⑤構造設計 BIM の事例・GDL のコツ紹介
- ⑥計算モデルからの Revit モデル化
- ⑦設備 BIM の活用事例
- ⑧VR ゴーグル体験

です。千葉 BIM ワークショップ当日は約 50 名の来場があり、アンケートでは参加者からの大変好評なお言葉をたくさん頂戴することができました。

今年も、開催に向けた準備を行っています。(2025 年 12 月 19 日、金曜日、午後の開催予定です)

昨年度の参加者から「どのワークショップにするか絞れない! 参加できなかった講座にもぜひ参加したい!」との声も多く頂戴したので、ブラッシュアップしながらも、今年も皆様に楽しんで頂けるイベントにしたいと思います。ぜひ、お気軽にご参加ください。

イベントのホームページは 10 月中旬頃にオープンしますので、下記ホームページにアクセスし、お申し込みください。お待ちしております!

イベントの詳細については、
10 月中旬頃にこちらの HP に
掲載しますので、ぜひご覧ください。

千葉 BIM ワークショップ HP
<https://chibabim221.wixsite.com/workshop>



～グランキューブ大阪 (大阪府立国際会議場)～

百瀬登展 (行政 OB)

ポストモダンの名手、黒川紀章により設計された当会議場は、「グランキューブ大阪」の愛称の通りキューブ型の外観が特徴的な中之島のランドマーク的な存在です。外観はスタイリッシュなデザインで、室内は洗練された内装と美しい眺望を有する、ハートビル法に準拠した人に優しい施設です。

(大阪府建築士会ホームページから)

建物概要

鉄骨造 (地下 SRC 造) 地上 13 階地下 3 階建て

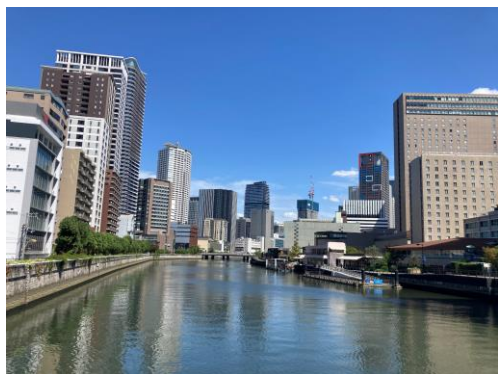
延面積 67,545 m²

高さ 104m

竣工 1999 年 12 月



グランキューブ大阪・外観



グランキューブ大阪・前面の河川とビル群

～会員の動静～

令和 7 年 8 月 2 日～令和 7 年 9 月 1 日

会員数 (1,510 名)

1) 新会員

○千 葉	真鍋 義貴	千葉市中央区南町
○市川・浦安	相浦 敦	松戸市日暮
○市川・浦安	高村 志伸	市川市曾谷
○市川・浦安	星野 理	浦安市明海
○松 戸	高嶋 俊伸	松戸市松戸
○山 武	木川 裕人	山武郡芝山町

2) 会員の異動

(勤務先変更)

○市川・浦安 小沢 桃子

t0h アーキエイツ

～編集後記～

私は『ウंची』である。短距離を早く走ることができないし、長距離を走る体力も根性もない。高く飛ぶこともできなければ、遠くに物を投げることもできない。棒を持って小さい球を打つことなど、もっての外である。体育会系の“ノリ”は苦手な自他ともに認めるインドア派である。

そんな私がテレビを見ていたら、陸上競技の世界大会が放映されていた。女子のマラソンである。マラソン競技をスタートからゴールまで見るのは初めてだった。これをきっかけに、陸上競技を毎日見るようになった。結果の良かった選手のインタビューを聞くと嬉しくなるし、結果があまり良くなかった選手のインタビューを聞くと「そこにいてだけで凄いのに。」と感情移入をしてしまう。

世界陸上だけではなく、オリンピックも夢中になるし、サッカーのワールドカップも見てしまう。そうそう、高校野球も感動する。スポーツ選手には人を引き付ける魅力がある。

さて、そこで私自身はどうだろうか。私の仕事は？私の活動は？スポーツ選手や著名人のようにはいかなくとも、喜んで貰えるような活動ができているだろうか？

物思いに耽る秋が始まった。

粕谷 修一 安房支部